

気になったから 勝手に調べたブログ

6月号

第14回

～誰でも主役になれる～

「コミュニティFM チョクラジ」



お疲れ様です。プロサポート管理課の村田です。

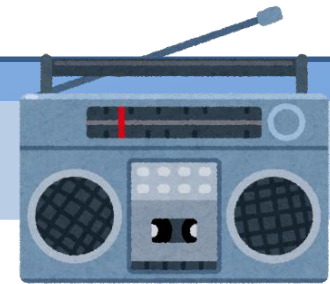
筑豊地区で唯一のコミュニティFM局が、直方市にあるのを知っていますか？

私は約10年前に知りました。当時は謎の病に襲われふらふらでしたが、利用していた施設のスタッフさんに「ラジオに出てみない？」と誘われたのがきっかけです。

嬉しさで体調不良も忘れていました。ラジオには不思議なパワーがあるのかもしれないね？

・・・それは置いといて、今回は直方のラジオ局「チョコクラジ」と「ジャッキー局長」を紹介します。

直方にある『人とひととが集まる場所』



開局は、ジャッキー局長が北九州市のコミュニティFM「エアステーションヒビキ」への出演がきっかけです。スタジオは特別養護老人ホーム中で、施設を利用する人や地域住民の方々の交流の場になっていたそうです。

直方市にも「人と情報が集まる場所」を作りたいという思いから、
「チョコクラジ」は、
2019年6月12日に誕生しました。

ジャッキー局長は、マイクの前に座ると、別人のように「スイッチ」が入り、その場を明るい空気へと変えていきます。出演者の笑顔を見た瞬間、ラジオの魅力が改めて感じるそうです。



放送中に飛び交う筑豊弁や、メッセージにはその場で応える距離感も魅力のひとつ。笑顔になれる時間を届けたいという想いは、「話の内容がよく分からなくても、楽しい雰囲気が伝わってくる！」というリスナーの方の言葉にも表れていました。

『チョコクラジ』を一言で表すなら、

「人とひととがつながるラジオ」。

そんな温かさが、スタジオや放送にもあふれているように思います。

「特別な人じゃなくても、自分の想いを届けられる。」



『チョコラジ』では、「プロではない普通の人達が情報発信すること」を大切にしています。

「届けたい想いがあれば誰でも出られる」のも大きな魅力のひとつ。

昔出たときには緊張のあまり、何を話したのか覚えていませんが、とても楽しい時間だったのは覚えています

・・・って、思い出したらまた出たくなかった
伝えたい想いは、思い浮かばないけど出してくれないかな～？

スタジオにある暖かさ

スタジオの窓には、地域の方達からの手紙やメッセージなどが飾られています。また「Facebook」や「インスタグラム」もあって、番組の情報・収録の様子・出演者の写真なども見られます。

「全ての人にラジオで情報発信する楽しさを感じてほしい」
そんな想いで続けられているジャッキー局長は

「ラジオは、『人とひととのつながりを作るもの』」だと言います。

開局の日の思い出



この写真は、開局の日
忙しそうなおジャッキーさんの
隙をついて撮った一枚(^_^)

スタジオには、たくさんの贈り物や花が並び、地域の方々の暖かさを実感しました。



周波数は FM 86.1MHz

「Listen Radio」というアプリで気軽スマホから聴けるのも嬉しいポイントです。

※今回の記事は、ジャッキーさんへの取材や、勝手に調べた内容をもとに書いています。
もし間違いがあれば・・・優しく耳打ちして下さい(^_^;